



## MPLS ラベル インポジションの設定

この章では、マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル インポジションの設定方法について説明します。

- [MPLS ラベル インポジションについて \(1 ページ\)](#)
- [MPLS ラベル インポジションに関する注意事項と制限事項 \(2 ページ\)](#)
- [MPLS ラベル インポジションの設定 \(3 ページ\)](#)
- [MPLS ラベル インポジション設定の確認 \(6 ページ\)](#)
- [MPLS ラベル インポジション統計の表示 \(8 ページ\)](#)
- [MPLS ラベル インポジション統計のクリア \(10 ページ\)](#)
- [MPLS ラベル インポジションの設定例 \(10 ページ\)](#)

## MPLS ラベル インポジションについて

MPLS ラベル スタック インポジション機能を使用して、1 つ以上のラベルを持つ発信ラベル スタックを静的にプロビジョニングできます。発信ラベル スタックは、次の2種類の静的に設定された MPLS バインディングで使用されます。

- ラベル スタックへのプレフィックスとラベル：ここでは、静的 MPLS と同様に、IP プレフィックスまたは着信ラベルが発信スタックにマッピングされます。着信プレフィックスは、IP のみの入力トラフィックの `out-label-stack` にマッピングされます。
- ラベル スタックへのラベル：ここでは、受信ラベルのみがプレフィックスなしで送信スタックにマップされます。

新しい MPLS バインディング タイプは静的 MPLS コンポーネントに実装され、**feature mpls segment-routing** コマンドが有効になっている場合にのみ使用できます。

MPLS ラベル インポジションの設定されたネクストホップが SR 再帰ネクストホップ (RNH) である場合、それらは RIB を使用して実際のネクストホップに解決されます。out-label スタックの外部ラベルは、SR によって割り当てられたラベルから自動的にインポジションされます。

ECMP は、いくつかのパス構成を追加することによってもサポートされます。



- (注) 静的 MPLS プロセスは、**feature mpls segment-routing** コマンドまたは **feature mpls static** コマンドのいずれかが実行されたときに開始されます。**feature mpls segment-routing** コマンドを使用してスタティック MPLS を実行すると、一部の標準スタティック MPLS コマンドを使用できなくなり、**feature mpls static** コマンドを実行すると、MPLS バインディングのコマンドを使用できなくなります。

## MPLS ラベル インポジションに関する注意事項と制限事項

MPLS ラベル インポジションに関する注意事項と制約事項は次のとおりです。

- MPLS ラベル インポジションは、以下のスイッチでサポートされています。
  - 9400、9500、9600、9700-EX、および 9700-FX ラインカードを搭載した Cisco Nexus 9200、9300、9300-EX、9300-FX、および 9500 プラットフォーム スイッチ。
  - Cisco Nexus 3164Q、31128PQ、3232C、および 3264Q スイッチ。
  - Cisco NX-OS リリース 9.2(1) リリース以降、Cisco Nexus 9364C スイッチでサポートされています。
  - Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降、Cisco Nexus 9364C-GX、Cisco Nexus 9316D-GX、および Cisco Nexus 93600CD-GX スイッチでサポートされています。
- MPLS ラベル インポジションは、IPv4 のみをサポートします。
- アウトラベルスタックのラベルの最大数は、Cisco Nexus 9200、9300-EX、および 9300-FX プラットフォーム スイッチの場合は 5、Cisco Nexus 9300 と 9500 プラットフォーム スイッチおよび Cisco Nexus 3164Q、31128PQ、3232C、および 3264Q スイッチの場合は 3 です。これより多くのラベルをインポーズしようとする、後続のラベルが自動的に切り捨てられ、syslog エラー メッセージが表示され、構成を修正するように通知されます。
- マルチキャストは、MPLS ラベル インポジションではサポートされていません。
- マルチラベル スタック構成では、発信パスの変更は Cisco Nexus 9200 および 9300-EX シリーズ スイッチでのみ許可されます。
- サブインターフェイスとポート チャネルは、MPLS ラベル インポジションではサポートされていません。
- ルーティング プロトコル (スタティック ルートを含む) から学習したプレフィックスおよび関連するサブネット マスクは、ラベル スタック インポジション ポリシーの一部として使用できません。
- ラベル スタック インポジションの検証済みスケーラビリティ制限については、お使いのデバイスの『[検証済みスケーラビリティ ガイド](#)』を参照してください。

# MPLS ラベル インポジションの設定

## MPLS ラベル インポジションの有効化

MPLS ラベル インポジションを設定するには、MPLS 機能セットをインストールして有効にしてから、MPLS セグメントルーティング機能を有効にする必要があります。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	<b>[no] install feature-set mpls</b> 例： switch(config)# install feature-set mpls	MPLS 機能セットを有効化します。このコマンドの <b>no</b> 形式は、MPLS 機能セットをアンインストールします。
ステップ 3	<b>[no] feature-set mpls</b> 例： switch(config)# feature-set mpls	MPLS フィーチャセットをイネーブルにします。このコマンドの <b>no</b> 形式は、MPLS 機能セットを無効化します。
ステップ 4	<b>[no] feature mpls segment-routing</b> 例： switch(config)# feature mpls segment-routing	MPLS セグメントルーティング機能を有効化します。このコマンドの <b>no</b> 形式は、MPLS セグメントルーティング機能を無効化します。
ステップ 5	(任意) <b>show feature-set</b> 例： switch(config)# show feature-set Feature Set Name ID State ----- mpls 4 enabled	MPLS 機能セットのステータスを表示します。
ステップ 6	(任意) <b>show feature   grep segment-routing</b> 例： switch(config)# show feature   grep segment-routing segment-routing 1 enabled	MPLS セグメントルーティングのステータスを表示します。

	コマンドまたはアクション	目的
--	--------------	----

## MPLS ラベル インポジション用のラベルの予約

スタティックに割り当てるラベルを予約します。動的なラベル割り当てはサポートされていません。

始める前に

MPLS セグメントルーティング機能が有効になっていることを確認します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します
ステップ 2	[no] <b>mpls label range min-value max-value</b> [static min-static-value max-static-value] 例： switch(config)# mpls label range 17 99 static 100 10000	スタティック ラベル割り当てに使用する一連のラベルを予約します。 最小値と最大値の範囲は 16～471804 です。
ステップ 3	(任意) <b>show mpls label range</b> 例： switch(config)# show mpls label range	スタティック MPLS に設定されているラベル範囲を表示します。
ステップ 4	(任意) <b>copy running-config startup-config</b> 例： switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

## MPLS ラベル インポジションの設定

デバイスに MPLS ラベル インポジションを設定できます。



(注) **feature mpls segment-routing** コマンドは、**feature nv overlay**、**nv overlay evpn**、**feature vpc**、および **feature vn-segment-vlan-based** コマンドが使用されている場合、有効にすることはできません。

## 始める前に

MPLS セグメント ルーティング機能が有効になっていることを確認します。

静的ラベル範囲を次のように設定します。 **mpls label range 16 16 static 17 50000**

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	<b>interface type slot/port</b> 例： switch(config)# interface ethernet 2/2 switch(config-if)#	指定したインターフェイスのインターフェイス コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	<b>[no] mpls ip forwarding</b> 例： switch(config-if)# mpls ip forwarding	指定されたインターフェイスで MPLS を有効にします。このコマンドの <b>no</b> 形式は、指定されたインターフェイスで MPLS を無効にします。
ステップ 4	<b>mpls static configuration</b> 例： switch(config-if)# mpls static configuration switch(config-mpls-static)#	MPLS 静的グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 5	<b>address-family ipv4 unicast</b> 例： switch(config-mpls-static)# address-family ipv4 unicast switch(config-mpls-static-af)#	指定された IPv4 アドレス ファミリに対応するグローバルアドレスファミリ コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 6	<b>lsp name</b> 例： switch(config-mpls-static-af)# lsp lsp1 switch(config-mpls-static-lsp)#	LSP の名前を指定します。
ステップ 7	<b>in-label value allocate policy prefix</b> 例： switch(config-mpls-static-lsp)# in-label 8100 allocate policy 15.15.1.0/24 switch(config-mpls-static-lsp-inlabel)#	in-label 値とプレフィックス値を設定します (オプション)。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	<b>forward</b> 例： <pre>switch(config-mpls-static-lsp-inlabel)#   forward switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)#</pre>	転送モードに入ります。
ステップ 9	<b>path number next-hop ip-address out-label-stack label-id label-id</b> 例： <pre>switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)#   path 1 next-hop 13.13.13.13   out-label-stack 16 3000</pre>	パスを指定します。サポートされるパスの最大数は 32 です。
ステップ 10	(任意) <b>copy running-config startup-config</b> 例： <pre>switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)#   copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

## MPLS ラベル インポジション設定の確認

MPLS ラベル インポジション設定を表示するには、次のいずれかの作業を行います。

コマンド	目的
<b>show feature   grep segment-routing</b>	MPLS ラベル インポジションのステータスを表示します。
<b>show feature-set</b>	MPLS 機能セットのステータスを表示します。
<b>show forwarding mpls label label</b>	特定のラベルの MPLS ラベル転送統計情報を表示します。
<b>show mpls label range</b>	MPLS ラベル インポジションに設定されているラベル範囲を表示します。
<b>show mpls static binding {all   ipv4}</b>	設定された静的プレフィックスまたはラベルバインディングを表示します。
<b>show mpls switching [detail]</b>	MPLS ラベル スイッチングの情報を表示します。
<b>show running-config mpls static</b>	実行中の静的 MPLS 設定を表示します。

次に、**show forwarding mpls label 8100** コマンドの出力例を示します。







コマンド	目的
<b>show forwarding [ipv4] adjacency mpls stats</b>	MPLS IPv4 隣接関係統計を（パケットとバイトの両方で）表示します。  (注) Cisco Nexus 9200 および 9300-EX シリーズスイッチは、このコマンドをサポートしていません。
<b>show forwarding mpls label label stats [platform]</b>	MPLS ラベル転送の統計情報を表示します。
<b>show mpls forwarding statistics [interface type slot/port]</b>	MPLS 転送の統計情報を表示します。
<b>show mpls switching labels low-label-value [high-label-value] [detail]</b>	MPLS ラベル スイッチングの統計情報を表示します。ラベル値の範囲は 0 ~ 524286 です。

次に、**show forwarding adjacency mpls stats** コマンドの出力例を示します。

```
slot 1
=====
FEC      next-hop      interface      tx packets      tx bytes      Label info
-----
12.12.3.2  12.12.3.2     Vlan122        0                0              SWAP 3131 17
12.12.3.2  12.12.3.2     Vlan122        0                0              SWAP 3132 16
12.12.4.2  12.12.4.2     Vlan123        0                0              SWAP 3131 17
12.12.4.2  12.12.4.2     Vlan123        0                0              SWAP 3132 16
12.12.1.2  12.12.1.2     Po121          0                0              SWAP 3131 17
12.12.1.2  12.12.1.2     Po121          0                0              SWAP 3132 16
12.12.2.2  12.12.2.2     Eth1/51        0                0              SWAP 3131 17
12.12.2.2  12.12.2.2     Eth1/51        0                0              SWAP 3132 16
```

次に、**show forwarding mpls label 8100 stats** コマンドの出力例を示します。

```
slot 1
=====
-----+-----+-----+-----+-----+-----
Local  |Prefix  |FEC      |Next-Hop  |Interface  |Out
Label  |Table Id| |(Prefix/Tunnel id) | |          |Label
-----+-----+-----+-----+-----+-----
8100   |0x1     |25.25.0.0/16  |12.12.1.2  |Po121     |3131
SWAP   |         |              |            |          |17
"      |0x1     |25.25.0.0/16  |12.12.2.2  |Eth1/51   |3131
SWAP   |         |              |            |          |17
"      |0x1     |25.25.0.0/16  |12.12.3.2  |Vlan122   |3131
SWAP   |         |              |            |          |17
"      |0x1     |25.25.0.0/16  |12.12.4.2  |Vlan123   |3131
SWAP   |         |              |            |          |17
      |         |              |            |          |17

Input Pkts : 126906012          Input Bytes : 64975876096
SWAP Output Pkts: 126959183      SWAP Output Bytes: 65764550340
TUNNEL Output Pkts: 126959053    TUNNEL Output Bytes: 66272319384
```

次に、**show mpls forwarding statistics** コマンドの出力例を示します。

```
MPLS software forwarding stats summary:
Packets/Bytes sent      : 0/0
Packets/Bytes received  : 0/0
Packets/Bytes forwarded : 0/0
Packets/Bytes originated : 0/0
Packets/Bytes consumed  : 0/0
Packets/Bytes input dropped : 0/0
Packets/Bytes output dropped : 0/0
```

## MPLS ラベル インポジション統計のクリア

MPLS ラベル インポジションの統計情報をクリアするには、次の作業を行います。

コマンド	目的
<b>clear forwarding [ipv4] adjacency mpls stats</b>	MPLS IPv4 隣接関係の統計情報を消去します。
<b>clear forwarding mpls stats</b>	入力 MPLS 転送統計情報をクリアします。
<b>clear mpls forwarding statistics</b>	MPLS 転送統計情報をクリアします。
<b>clear mpls switching label statistics [interface type slot/port]</b>	MPLS スイッチング ラベルの統計情報をクリアします。

## MPLS ラベル インポジションの設定例

次の例は、プレフィックスと incoming-label を out-label-stack バインディングに割り当てることにより、MPLS ラベル インポジションを設定する方法を示しています。

```
switch(config-if)# mpls static configuration
switch(config-mpls-static)# address-family ipv4 unicast
switch(config-mpls-static-af)# lsp LI_TEST1
switch(config-mpls-static-lsp)# in-label 8100 allocate policy 25.25.0.0/16
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel)# forward
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 1 next-hop 12.12.1.2 out-label-stack
3131 17
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 2 next-hop 12.12.2.2 out-label-stack
3131 17
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 3 next-hop 12.12.3.2 out-label-stack
3131 17
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 4 next-hop 12.12.4.2 out-label-stack
3131 17
```

next-hop を削除するには、次を使用できます：

```
no path 1
```

指定された lsp を削除するには、次を使用できます：

```
no lsp LI_TEST1
```

次の例は、incoming-label を out-label-stack バインディングに割り当てることにより、MPLS ラベル インポジションを設定する方法を示しています（プレフィックスなし）。

```
switch(config-if)# mpls static configuration
switch(config-mpls-static)# address-family ipv4 unicast
switch(config-mpls-static-af)# lsp LI TEST1
switch(config-mpls-static-lsp)# in-label 8200 allocate
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel)# forward
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 1 next-hop 12.12.3.2 out-label-stack
3132 16
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 2 next-hop 12.12.4.2 out-label-stack
3132 16
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 3 next-hop 12.12.1.2 out-label-stack
3132 16
switch(config-mpls-static-lsp-inlabel-forw)# path 4 next-hop 12.12.2.2 out-label-stack
3132 16
```



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。